

令和2年度決算のあらまし

☎ 企画財政課財政係（市役所2階 ☎82-3114）

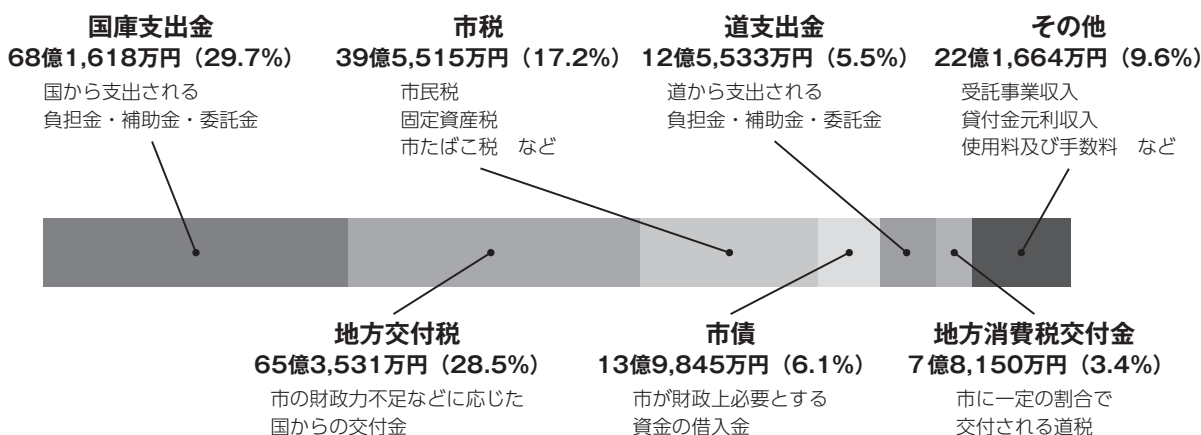
一般会計

一般会計は、市の行政運営の基本になる会計です。福祉の推進や安全・安心な暮らしの確保、道路・公園などの公共施設の維持整備、教育・文化の振興などに市民の皆さんからいただいた税金や国からの補助金などを充てています。

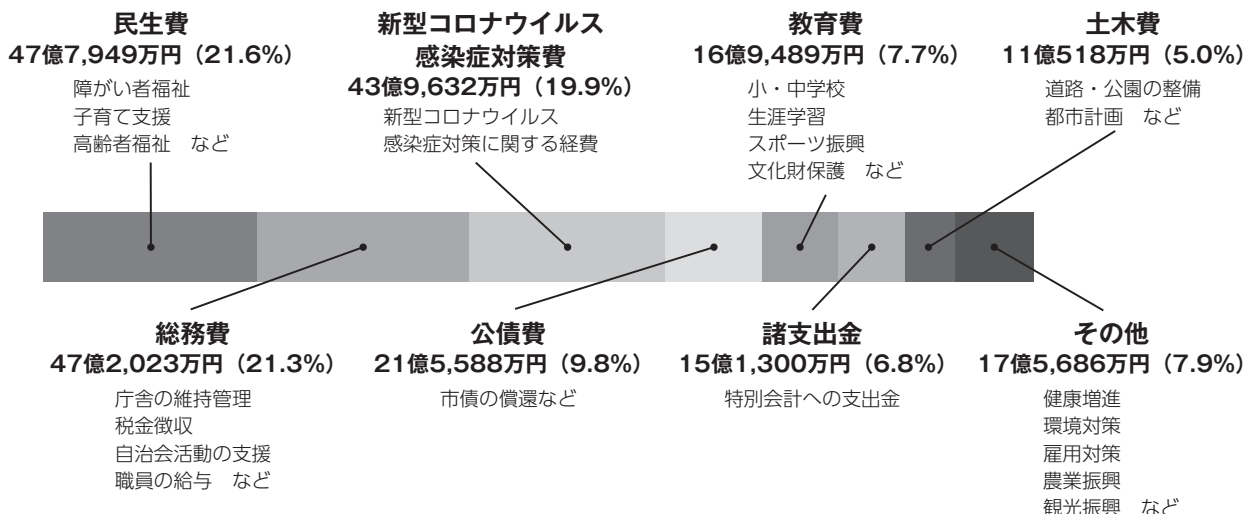
近年は180億円前後の予算規模でしたが、1人あたり10万円を支給する特別定額給付金や経済対策としてのプレミアム付き商品券の発行など、新型コロナウイルス感染症対策に関する事業を国や道からの補助金や交付金を活用して行った影響で、約40億円程度決算額が増加しました。

結果として、令和2年度は歳入が229億5,856万円に対し歳出が221億2,185万円で、歳入歳出差引額は8億3,671万円になりました。

歳入 229億5,856万円



歳出 221億2,185万円



➡ 1年間に支出したお金を市民1人あたりに換算すると **666,140円**（昨年532,241円）

財政健全化判断比率など

本市ではどの数値も基準以内です。

令和2年度決算に基づく健全化判断比率 (単位：%)

健全化判断比率	本市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.19	20.0
連結実質赤字比率	—	18.19	30.0
実質公債費比率	4.8	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

公営企業会計の資金不足比率 (単位：%)

会計名	本市の比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
簡易水道事業会計	—	20.0
公共下水道事業会計	—	20.0

※各比率の「—」は、赤字や資金不足がないことを表します

地方債（市債）現在高

道路や公共施設など将来にわたって利用される施設を整備するためには、一時的に多額の費用が必要になります。市はその費用を国や銀行などから借り入れ、数年から数十年に分割して返済することで、財政負担の平準化を図るほか世代間における負担の公平性を担保しています。

令和2年度地方債(市債)の現在高	251億3,257万円
一般会計	184億4,980万円
公営企業会計	66億8,277万円

→現在高を市民1人あたりに換算すると**756,800円**
(昨年は778,320円)

「広報だて」の決算

- 広報だての発行にかかった金額 6,293,289円
(総発行部数 159,710部)
 - 広報だての広告料収入 1,811,700円
(全額広報だての発行費に充てさせていただきました)
- ☎ 総務課広報広聴係 (市役所2階 ☎82-3162)

※詳しい決算書・決算資料は、市ホームページで公開しています

特別会計・企業会計

特別会計は、特定の収入を財源として特定の事業を行うもので、一般会計と区別して経理する必要がある会計です。

特別会計決算収支一覧表 (単位：万円)

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	425,207	413,907	11,300
介護保険	353,621	345,495	8,126
霊園	328	328	0
後期高齢者医療	64,016	62,582	1,434
合計	843,172	822,312	20,860

企業会計は独立採算制をとっていて、公共の福祉を増進しつつ、採算も念頭に置きながら運営するものです。簡易水道事業会計や公共下水道事業会計は一般会計からの繰入を行っています。また、資本的収支の不足分は損益勘定留保資金等で補っています。

企業会計決算収支一覧表 (単位：万円)

水道事業	収入	支出	差引
収益的収支	63,210	55,706	7,504
資本的収支	4,500	38,719	△ 34,219
合計	67,710	94,425	△ 26,715
簡易水道事業	収入	支出	差引
収益的収支	8,140	8,118	22
資本的収支	828	3,973	△ 3,145
合計	8,968	12,091	△ 3,123
公共下水道事業	収入	支出	差引
収益的収支	131,553	129,367	2,186
資本的収支	77,844	120,037	△ 42,193
合計	209,397	249,404	△ 40,007

財産の状況

道路・公園などの土地や学校・公営住宅などの建物を所有しています。また、このほかにも基金などの財産を所有しています。

土地	40,202,255㎡	建物	248,492㎡
有価証券	2,080万円	出資金	7,339万円
債権	4,972万円	基金等	89億9,471万円